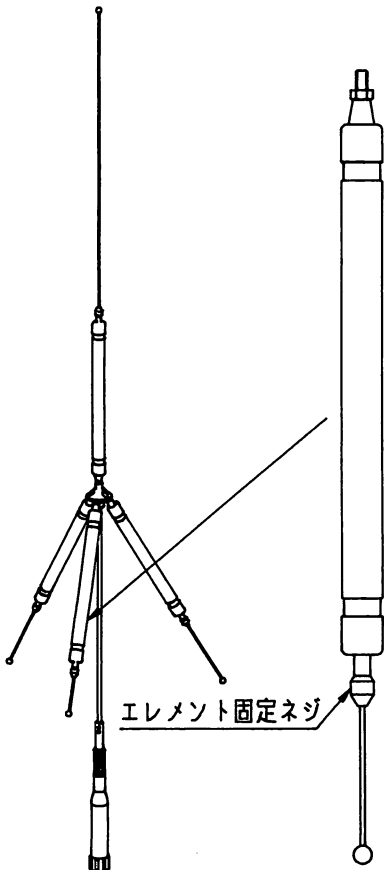


# MODEL L14HA COMET ANTENNA

## HA4S用 14MHz帯オプションパーツ

この度は、コメットアンテナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございました。御使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。



14MHz帯ローディングコイルは、コイル取付金具の下に付いている21, 24, 28MHz帯のいずれかのローディングコイルを1ヶ取り外して取付ます。

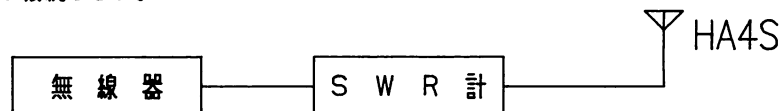
14MHz帯は、車体の端（ルーフサイド、トランクリッド等）に取付た場合、エレメントが、車体の方向を向いた場合と外の方へ向いた場合とで車体の影響の受け具合が異なるためfo（SWRの最良点）が変わります。

取付方向を決めて、SWRを調整し、いつも、その方向へ取り付けることをお勧めします。

ご使用になる周波数でSWRが下がらない場合は、下記の方法で調整してください。

SWRを調整する場合は、できるだけ小電力（10W以下）でFMあるいはCWレンジにて行って下さい。 FMあるいはCWレンジ100Wで長時間調整されていますと、アンテナが発熱しすぎて壊れる場合があります。

アンテナ（HA4S）と無線器の間へ使用する周波数帯及び電力に適合するSWR計を図のとおり接続します。



14MHz帯のエレメント固定ネジをゆるめて、エレメントの出し入れにより希望周波数にfo（SWR最良点）がくるようように調整します。

エレメントを出すと周波数は低い方へ、入れると高い方へfo（SWRの最良点）が移動します。14MHz帯のエレメント1Cm当たりの出し入れによるfoの移動は下記のとおりです。

$$14\text{MHz} \text{ --- } 0.19\text{MHz}$$

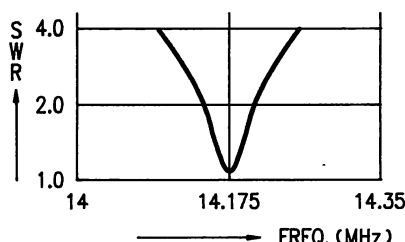
例えば、14MHz帯でバンド内のSWRを測定したとき、14.3MHzにfoがありました。希望するfoの周波数が14.2MHzの場合には、下記の式に代入して

$$\text{エレメントを可変する長さ (Cm)} = \frac{\text{測定したfo} - \text{目的の周波数}}{\text{1Cm当たりのfoの移動量}}$$

$$\begin{aligned} \text{エレメントを可変する長さ (Cm)} &= \frac{14.3(\text{MHz}) - 14.2(\text{MHz})}{0.19(\text{MHz})} \\ &= 0.53(\text{Cm}) \end{aligned}$$

故に14MHz帯エレメントを0.53Cm長くするとfoが14.2MHzになります。計算してマイナスになった場合は短くします。

### SWR特性



耐入力; 120W (SSB)

## コメット株式会社

本社; 〒336 埼玉県浦和市辻4-18-2 TEL 048-839-3131(代) FAX 048-839-3136

■お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されていますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、取扱店にお申し付け下さい。

■本アンテナの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。